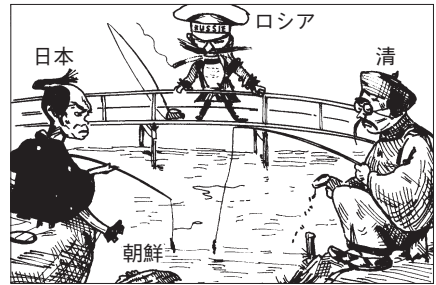


## 1 日清戦争

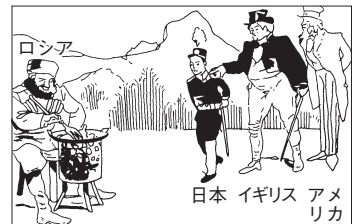
- (1) **甲午農民戦争**……1894(明治27)年、朝鮮で、民間信仰をもとにした東学を信仰する農民が中心となり、反乱がおこった。これをしずめるために日本と清は朝鮮に兵を送った。
- (2) **日清戦争**……1894年、朝鮮の支配をめぐる日本軍と清軍が朝鮮を主戦場として戦った。日本軍は各地で勝利し、1895年、**下関条約**を結んで、リアオトン半島や台湾などの領土と賠償金を獲得した。
- (3) **三国干渉**……ロシアはフランス・ドイツをさそってリアオトン半島を清に返すことを要求し、日本はやむなく従った。そのため、国民の間にはロシアへの対抗心が高まり、政府は軍備の拡張をすすめた。



▲日清戦争の風刺画

## 2 日露戦争

- (1) **日露戦争**……1904(明治37)年、対立を深めていたロシアと日本はついに開戦した。歌人の与謝野晶子は、戦場にいる弟を思いやる詩を発表した。日本は苦戦しながらもリュイシュンなどを占領し、日本海海戦では、**東郷平八郎**が指揮する海軍がロシアのバルチック艦隊を破った。
- (2) **戦争の終結**……戦争が長びき、日本では兵力・物資が不足し、ロシアでは革命運動がおこった。1905(明治38)年、両国はアメリカ大統領の仲介で、**ポーツマス条約**を結んだ。
- (3) **日露戦争後の日本**……ポーツマス条約



▲日英同盟の風刺画

にちえいどうめい  
**日英同盟(1902年)**  
ロシアは朝鮮(韓国)への進出をねらい、日本と対立していた。また、ロシアと中央アジアで対立していたイギリスと日本が同盟を結んだことから、日本とロシアの対立が深まった。

(あ)(お)  
あいをとつとよ君を泣く  
君死にたまふことなけれ  
末に生れし君なれば  
親のなさはまさりしも  
親は刃をにぎらせて  
人を殺せとをしへしや  
人を殺して死ねよとて  
二十四までをそだてしや  
(後略)

▲君死にたまふことなけれ(与謝野晶子)

- で賠償金が取れないことがわかると、東京の日比谷で焼き打ち事件がおこった。また、ロシアに勝ったことで日本の国際的な地位は高まり、南満州鉄道や鉱山を支配して大陸に勢力をのばした。
- (4) **韓国併合**……韓国に対する優越権を得た日本は、1910(明治43)年に韓国を日本の**植民地**とした。歌人の石川啄木は、政府の政策を批判する歌をよんだ。土地を失った韓国の人々の中には、日本や**満州**(中国東北部)に移住した人もいた。第一次世界大戦後の1919(大正8)年に**三・一独立運動**がおこるなど、朝鮮では日本への抵抗が続いた。朝鮮の芸術に関心をもっていた柳宗悦は、日本政府の植民地政策を批判した。

	日清戦争	日露戦争
年	1894～95年	1904～05年
講和会議	下関	ポーツマス(アメリカ)
代表	伊藤博文 桂 小幡 陸奥 宗光	小村 寿太郎
条約の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>清は朝鮮の独立を認める</li> <li>台湾・リアオトン半島を得る</li> <li>賠償金を得る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>韓国について優越権をもつ</li> <li>南樺太などを得る</li> </ul>

▲日清・日露戦争の講和条約

## 3 条約改正

- (1) **岩倉使節団の改正交渉**……1871(明治4)年に政府が派遣した使節団が不平等条約改正の交渉にあたったが、失敗に終わった。使節団に留学生として同行した当時7才の津田梅子は、のちに女子英学塾を創設するなど女子教育の発展につくした。

地図の上 朝鮮国に黒々と  
墨をぬりつつ 秋風を聴く

▲石川啄木の短歌

- (2) **欧化政策**……井上馨は、鹿鳴館を建てるなど欧米文化を取り入れて、日本が文明国であることを諸外国に示そうとした。
- (3) **ノルマントン号事件**……イギリス船ノルマントン号が1886(明治19)年に和歌山県沖で沈没した際、イギリス人乗組員は全員救助され、日本人乗客は全員死亡した。しかし船長は軽い罪ですんだため、治外法権(領事裁判権)の撤廃を求める声が高まった。
- (4) **治外法権の撤廃**……日清戦争の直前、外務大臣陸奥宗光は、イギリスとの交渉で治外法権の撤廃に成功した。
- (5) **関税自主権の回復**……1911(明治44)年、外務大臣小村寿太郎は、アメリカとの交渉で関税自主権の完全回復に成功した。



▲ノルマントン号事件の風刺画

- 1871年 岩倉具視らが欧米に行き、改正交渉を始めるが、失敗に終わる
- 1882年 井上馨、外国人裁判官の任用案をもって交渉にあたる
- 1883年 鹿鳴館ができる
- 1886年 ノルマントン号事件
- 1888年 大隈重信の改正交渉
- 1894年 治外法権の撤廃(陸奥宗光)
- 1911年 関税自主権の完全回復(小村寿太郎)

#### 4 日本の産業革命

#### ▲条約改正へのあゆみ

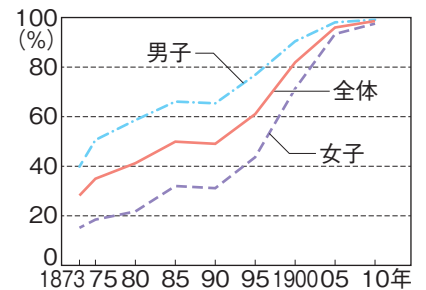
- (1) **産業革命**……日本の産業革命は日清戦争の前後から**紡績業**(綿糸の製造)・**製糸業**(生糸の製造)を中心としたせんい工業からおこった。そして1909年(明治42年)には、日本の生糸の輸出量が中国をぬいて世界一となった。日露戦争の前後には、金属・機械を中心とした重工業が発達した。
- (2) **八幡製鉄所**……鉄鋼の自給をめざし、日清戦争の賠償金の一部を使って、北九州に官営の**八幡製鉄所**がつけられた。これが重工業の発展の土台となった。
- (3) **足尾銅山鉍毒事件**……産業の発展は**公害**をもたらした。渡良瀬川流域に足尾銅山(栃木県)の鉍毒が広まり、農民や漁民が大きな被害を受けた。衆議院議員の**田中正造**が解決に努力した。

人物	業績
北里柴三郎	破傷風の血清療法 の発見、 ペスト菌の発見
志賀潔	赤痢菌の発見
野口英世	黄熱病の研究

#### 5 明治の文化

#### ▲科学者とその業績

- (1) **自然科学**……北里柴三郎・志賀潔・野口英世らが出た。
- (2) **美術**……岡倉天心がアメリカ人のフェノロサと協力して日本美術の復興にあたった。日本画の横山大観、洋画の黒田清輝が活やくした。
- (3) **近代文学**……欧米の思想や文学のえいきょうを受けて新しい文学が発展し、夏目漱石、森鷗外、樋口一葉、正岡子規らが作品を発表した。
- (4) **音楽**……滝廉太郎が「荒城の月」など洋楽の曲を発表した。
- (5) **義務教育**……日露戦争後に期間が4年から6年になった。



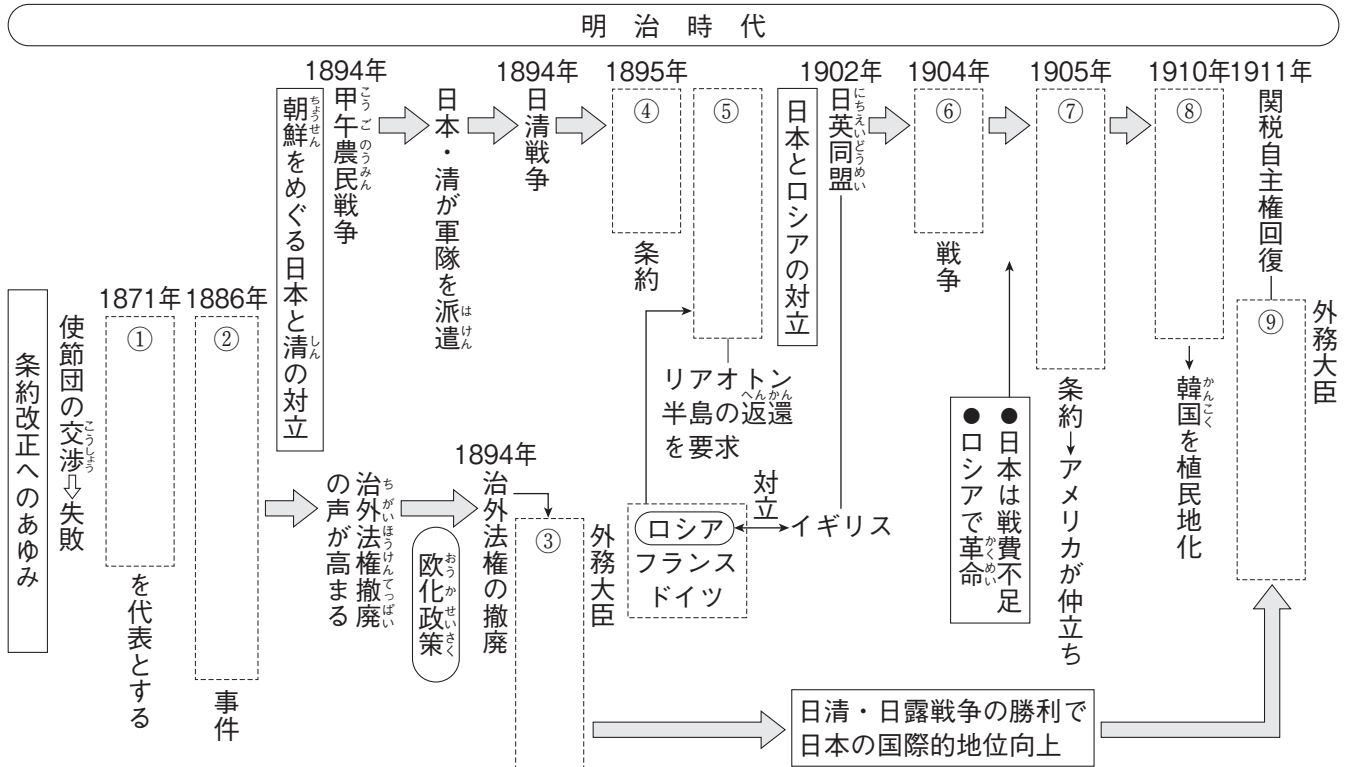
#### ▶▶▶ プラス学習 ▶▶▶

### 1 明治時代後半の動きについて、くわしく学習しよう。(⇒ 1, 2)

- (1) **帝国主義**……19世紀には、欧米の強国が武力と経済力を背景に、きそってアジア・アフリカに進出し、植民地化を進めた。これを、帝国主義という。
- (2) **エルトゥール号事件**……1890年、トルコの軍艦エルトゥール号が和歌山県沖で沈没した。このとき、沿岸の村民が総出で救助にあたり、犠牲者を埋葬したことが縁で、現在もトルコとは友好関係が続いている。
- (3) **日露戦争に反対した人々**……社会主義者の幸徳秋水やキリスト教徒の内村鑑三らが反対した。
- (4) **大逆事件**……1910(明治43)年、天皇の暗殺を計画したとして、政府は幸徳秋水ら社会主義者を逮捕し、翌年、12名を死刑にした。社会主義運動を弾圧したもので、多くの人は無実であった。
- (5) **韓国の植民地化**……日本は1905年に韓国から外交権をうばって保護国化し、韓国統監府(初代統監は伊藤博文)を置いた。1910年の韓国併合以降は、朝鮮総督府が植民地支配をおし進めた。

# 基本問題

1 次の図の□にあてはまることばを書きなさい。



2 日清・日露戦争 次の文中の□にあてはまることばを答えなさい。

- (1) 朝鮮で甲午農民戦争がおこると、日本と清が出兵し、反乱をしずめたあとも軍隊を引き上げず、1894年に□戦争が始まった。
- (2) 日本軍は各地で清軍に勝利し、1895年に講和条約として□条約を結んだ。
- (3) ロシア・フランス・ドイツは、リアオトン半島を清に返還するよう日本に求める□を行い、日本はやむなく受け入れた。
- (4) 日本は朝鮮(韓国)をめぐる、イギリスは中央アジアをめぐるそれぞれロシアと対立していたため、□を結んで、ロシアに対抗した。
- (5) 1904年、韓国や中国東北部(満州)への進出で対立を深めていた日本とロシアの間に、□戦争がおこった。
- (6) 歌人の□は、(5)の戦争のときに、戦場にいる弟を思いやる詩を発表した。
- (7) 日本での軍事費の不足やロシアでの革命の発生などによって、1905年に□条約が結ばれ、(5)の戦争が終わった。
- (8) (7)の条約では□がまったく得られなかったため、東京の日比谷で焼き打ち事件がおこった。
- (9) (5)の戦争の講和条約で韓国に対する優越権を得た日本は、1910年に□を行って、韓国を植民地とした。
- (10) 朝鮮では、1919年に日本の植民地支配に抵抗する□がおこった。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	

**3 条約改正** 次の問いに答えなさい。

- (1) 日本が欧米諸国と結んでいた不平等条約では、日本で罪をおかした外国人は日本の法律で裁くことができず、その国の領事が裁判を行う、という権利を外国に認めていました。この権利を何といいますか。
- (2) 日本が欧米諸国と結んでいた不平等条約では、関税を自由に決める権利が日本にはありませんでした。この権利を何といいますか。
- (3) 不平等条約の改正をめざして、1871年から欧米に派遣された使節団の代表者の名前を答えなさい。
- (4) 7才のとき、(3)の使節団に留学生として同行してアメリカにわたり、のちに女子教育の発展に力をつくしたのはだれですか。
- (5) 欧米文化を取り入れた文明国であることを示して条約改正を有利にすすめるために、東京につくられた洋館を何といいますか。
- (6) 1886年、和歌山県沖でイギリス船が沈没した際、イギリス人乗組員のみが救助され、日本人乗客は全員死亡した事件を何といいますか。
- (7) 1894年に、イギリスとの交渉で(1)の権利の撤廃に成功した外務大臣はだれですか。
- (8) 1911年に、アメリカとの交渉で(2)の権利を回復させた外務大臣はだれですか。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	

**4 明治時代の産業・文化** 次の文中の□にあてはまることばや数字を答えなさい。

- (1) 日本の産業革命はせんい工業からおこり、20世紀の初めには、□の輸出量は世界一となった。
- (2) 日清戦争後、清から得た賠償金で、北九州に官営の□製鉄所がつくられた。
- (3) 工業の発展にともなって公害問題がおこり、衆議院議員であった□は、足尾銅山鉍毒事件の解決のため活動した。
- (4) □は、破傷風の血清療法を発見・開発し、その名を世界に知られるようになった。
- (5) (4)の人物の指導を受けた□は、赤痢菌を発見して世界に知られた。
- (6) アメリカの研究所で活やくした□は、アフリカで黄熱病の研究を進めたが、研究中に感染して亡くなった。
- (7) 岡倉天心は、日本の伝統美術の価値を見いだしたアメリカ人の□と協力して、その復興に取り組んだ。
- (8) 自然主義文学に不満であった□は、『坊っちゃん』などの作品を発表した。
- (9) 短歌の与謝野晶子や、小説『たけくらべ』などをあらわした□など、女性の文学者が活やくした。
- (10) 西洋の音楽が学校教育にも取り入れられ、□が「荒城の月」などを作曲した。
- (11) 義務教育の期間は日露戦争後に4年から□年に延長された。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	
(11)	